

部局名

工学部

担当: 油田健太郎

11 住み続けられる
まちづくりを



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



テーマ

特定サイバー防犯ボランティア

概要

宮崎県警からの委嘱を受けたサイバーボランティアの学生は、主にインターネット上でパトロールを実施し、フィッシングサイトをドメイン事業者へ通報したり、サイバー犯罪対策や情報モラルについて中高生らへ講演するサイバーセキュリティカレッジに講師として参加する活動を行います。

工学部の岡崎直宣教授や油田健太郎准教授が宮崎県サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーを務めてきましたが、2017年度からは、情報通信技術に係る高い知識を持つ工学部学生もサイバー防犯ボランティアの委嘱を受けるようになり、2024年度までに、のべ80名が委嘱を受けています。サイバー犯罪を未然に防止する取り組みに積極的に協力することで、安全で住みやすい地域づくりに貢献しています。



今後の見通し

中学校や高等学校などに出向いて啓発活動を行う際に、年齢的に距離が近い学生が講師を務めることで、理解されやすいなどのメリットがある。また、近年は、若者をターゲットにしたサイバー犯罪などもあることから、若者の声を吸い上げることができることもメリットとしてあげられる。

今後も、地域の安全は地域の人たちで守るという意識でサイバー空間をパトロールしていく文化を醸成していくことで、県民が安全に安心して暮らすことができる社会に貢献することができる。

